

《学業成績通知書の見方》

1. 「科目コード」に「*」を付した科目は「選択科目」を示し、その他は「必修科目」を示しています。
必修科目……必修科目は、「必ず履修しなければならない授業科目」であり、卒業するためにはその単位を必ず修得しなければなりません。
選択科目……選択科目は、各人の選択により履修する授業科目です。
2. 「授業科目」は、4年次までのすべての科目を記しています。授業科目には選択科目も含んでおり、授業科目に掲載されているすべての科目を修得しなければならないというものではありません。
3. 「単位」は、その授業科目を修得することによって得られる単位数を示しています。
4. 「評価」は、成績評価基準により評価されています。「評価」欄に“履”が表示されている授業科目は、現在履修していることを示しており、今後評価される予定です。
5. 「年度」には、その授業科目を履修した年度を表示しています。
6. 成績評価基準が「合格」のものについて、修得単位欄に集計表示しています。
7. 送付先間違い等を防ぐため、左方に保証人住所、中央に学生氏名・学生番号を表示していますのでご了承ください。

【成績評価基準】 (注：入学年次によって、一部基準が異なります)

1. 学業成績通知書の右上の評価基準により評価しています。
2. 《2013年度以降入学(学則適用)の方》
「S、A、B、C、認」を合格とし、「D、E」を不合格とします。

《2012年度以前入学(学則適用)の方》
「5、4、3、認」を合格とし、「2、1」を不合格とします。
3. 「*」：評価不能とは、非受験、レポート未提出および授業に出席していないなどにより、成績の評価ができない場合を示します。
4. 点数等で評価できない、一部の実験・実習等の授業科目および、「アカデミック・リテラシー」については、合格は「G」、不合格は「F」と表示します。
5. 「認」：認定とは、編入学等で単位認定を受けた場合を示します。

以上